

エッソ・フォーミュラトヨタ シリーズ第6戦

■7月6日 フリー走行 DRY 鈴鹿サーキット

今回のレースでシリーズも後半戦に入ります。今回開催される鈴鹿サーキットは今までのサーキットとは違い、過去2年間自分が走りこんでいたこともありこのレースを心待ちにしていました。

そんな中走り始めた練習走行では事前テストの時のセッティングから少しセットを変えてきたのですが、乗りやすくなった所とそうじゃない所をまた少しずつ変更しながら走ります。そしてそれを服部さんに見てもらいながら走ったのですが、車の向きを変えるときの「荷重のかけるタイミングとステアリングをきっていくときのタイミング」など自分が今まで出来ていたつもりの走り方が本当は全然出来ていなかったことなどがわかり、まだ自分の走り方、車の動かし方など去年やっていたクラスの癖が全然抜けていないことがわかりました。

■7月7日 フリー走行 DRY

今回は大きなレースと併催ということで普段のレースより練習時間が少なく、この日も2枠しか練習時間がなかったので予選に1番近い1本目から NEW タイヤを入れることになりました。走り始めは中古タイヤで前日に服部さんから教えてもらったことや外から見てもらったラインの事など意識しながら走ります。

ラインなどよくなってきたところで NEW タイヤを投入し、アタックしたのですが、タイム的にもトップとの差はかなりあり、7番手のタイムで終わりました。レースウィーク最後となる2本目の練習ではさっきの悪かったところなど確認しチームメイトのセッティングに近い状態で走って見たのですが、自分の悪い所である、タイムを出そうと突っ込みすぎで立ち上がりでアクセルを踏めず逆にロスしたり、少しずつ良くなってきていたラインなどもまた元に戻ってきたりと、ミスを繰り返してしまい結局タイムアップも出来ないまま最後の練習を終えてしまいました。

練習を終えて、今の自分はコースを走りこんでいるとかそういう問題じゃなくて、基本的な車の走らせ方というのがわかってないことを実感しました。そういう所を考えて掴んでいかないと、どこのサーキットを走ったとしても速く走れないと思うし、この先通用しないなと思いました。

■7月8日 公式予選 DRY 予選9番手

この日は予報での雨は降ることもなく曇り空の中、予選を迎えることになりました。昨日の練習の結果からメカニックの方と話し合い、チームメイトのセッティングではなく、自分が走り易かった方のセットで予選を迎えることになりました。15分間の時間を何周も走り続けても決勝の時のタイヤ的に厳しくなるのでとりあえず、集中して3周アタックすることになりました。

走り始めてしっかりタイヤを暖めて3周続けてアタックしたのですが、毎周ほとんどタイムも変わらず、アンダーステアな傾向を感じたのでここでピットインします。そこで車の状態をメカニックの方に伝え車のセッティングを変更してもらい、再度アタックします。その結果アンダーステアも消える方向になり、少しですがタイムアップをした所で最終的に9番手で予選を終えました。この予選を終えて、普段の練習からアンダーなら「コーナーのどの部分でどうしたときにアンダーになるのか」など車の動きをもっと詳しくメカニックの方に伝えてセットをつめていかなければならないなと実感しました。

■7月9日 決勝 DRY 決勝リタイヤ

この日も心配されていた雨も降らずに曇り空の中、フォーメーションラップがスタートします。この日の決勝は朝早かった事もあり、路面温度もそこまで上がらないだろうという事で、昨日の予選のセットから変更せず決勝レースに挑みました。

フォーメーションラップでしっかりタイヤを暖めながら路面の状況などを確認します。前日の夜雨が振っていたこともあり、ライン以外の部分は少し滑り易いことを感じながらグリッドにつきスタートの時を待ちます。

シグナルレッド・消灯・スタート！

タイミングもよく、ホイールスピンも最小限で1コーナーまでに2台をパスして7番手にポジションアップします。そのまま前の車について走り、バックストレートで前の車その前の車に仕掛けます。そこはチャンスだと思いシケインのブレーキングで一気2台のイン側に入ろうとしたのですが、1台に寄せられ片輪を芝生に落としたこともあり一旦引きます。結局7番手のまま2周目に入ったのですが、デグナーの1つ目をオーバースピードで入ってしまいコースアウト。どうにかコースには復帰出来たもののそこで落ち着くことが出来ず、3周目の1コーナーで再びコースアウトしてしまいそこでレースを終えることとなりました。

今回のレースは自分ひとりで焦ってしまい、何もかもを自分のミスで台無しにしてしまいました。本当にすいません。こういう終わり方をすることが1番次に繋がらない終わり方だと思う、すぐもったいないレースでした。自分のこれからの課題として、もっと速く走ることはもちろんなのですが、それ以前に今の自分の力でもミスなくレースを走りきることでもっと結果に繋がるレースが出来ると思います。これからは技術はもちろん、それ以外の集中力などそういう所をもっと鍛えていきたいと思っています。次の第7戦も鈴鹿サーキットなので今回の経験を生かして少しずつでも成長していきたいと思っていますのでこれからもご指導、応援よろしくをお願いします。

Team NAOKI with LE PRIX SPORT DRIVER

吉田 広樹